

第 38 期

事業報告書および決算書

彦根総合地方卸売市場株式会社

事業報告書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

彦根総合地方卸売市場株式会社（以下「当社」という。）の第38期の事業報告について次のとおりご報告申し上げます。

当社が運営しております彦根総合地方卸売市場（以下「当市場」という。）は、本年3月で開場34周年を迎えました。

当社は、当市場が、卸売市場法に基づく生鮮食料品の供給拠点として、卸売市場の公共的役割を踏まえつつ、安全・安心な食材を安定的に供給できるよう最善の注意を払い事業を推進してまいりました。

当市場の卸売業者としては、青果部に「株式会社オーミ青果」、水産物部に「彦根魚市合同株式会社」の2社であります。他に買受人の利便性を高めるため、関連事業者8社が入場しております。また、当市場を利用する小売・飲食店等の買受人の登録数は、今期中で2名減少し、期末で306名となっております。

次に、当市場の取扱状況につきましては、市場の月例報告書等の集計によりますと今期中の取扱数量と金額の状況として、青果部が1,425トンで533,873千円、水産物部50トンで108,199千円となっており、総取扱数量は1,475トンであります。また、前年同期の取扱数量との比較では、青果部が108.2%、水産物部が86.2%、全体で107.3%となっております。取扱状況を分析いたしますと青果部では、主に夏場の猛暑の影響により集荷量が減少したことで取扱量は一時的に減少しましたが、秋からの新規の取引先を開拓したことにより取扱量は増加に転換しました。水産物部では、新規の取引先の確保を図るものの、既存の小売店や料理店の減少の影響により取扱量は減少しました。

続きまして当社の営業成績ですが、当社の売上高は、卸売会社2社、関連事業者8社、彦根市および社会福祉協議会などからの施設使用料や給食センター受託業者従業員に係る駐車料の賃貸料収入や水道光熱費そして彦根市学校給食センター用地に係る土地賃貸料収入が主なもので、当期では41,980千円となりました。営業外収益として雑収入と受取利息が主なものであり、当期では313千円でした。特別利益として彦根市から人件費に対する助成として9,360千円を交付いただきました。収入の合計は、51,653千円となり、前期より3,040千円の減収となりました。支出としての販売費および一

般管理費が４２，０７１千円となり、前期より３，１９３千円の減額となりました。営業外費用の５４千円と特別損失（当社の社用車廃車に伴う固定資産除却損）の１円と販売費および一般管理費を引き、最終当期純利益は前期より２，４７５千円増額の６，７５９千円となりました。

続きまして、第３８期の具体的事業の概要としては次のとおりです。

- 1 当市場施設利用者に対する支援として、施設使用料の減免措置を講じました。

コロナ前の収入に戻らず経営的に厳しい当市場施設利用者に対して支援を行いました。

- 2 前期から引き続き関連店舗３店舗の貸出し先が見つからないまま、本年２月末に関連店舗１店舗、更に３月末に１店舗が返還になりました。空き店舗を解消すべく、ホームページへ募集の掲載の更新や市場へ出入りしている業者あて借受人の紹介を依頼したり、不動産会社への営業活動を行いました。

その結果３月末には、２業者からの問合せがあり、次期の４月から借り上げしてもらえるようになりました。

- 3 老朽化が甚だしい施設・設備の更新や修繕が必要な箇所では、緊急度の高いものを中心に必要最低限の修繕工事に対応しました。主な工事としては、関連店舗シャッター修繕工事、大屋根雨漏り緊急修繕工事および陥没等場内舗装緊急修繕工事などを行いました。

- 4 当市場の活性化や開かれた市場を目指すために次の事業を行いました。

- ① 小学生を対象とした見学会と食育授業「魚を上手に食べよう」を実施しました。

今期は、城北小学校の３年生児童３６名の来場がありました。

- ② 今期も東びわこ農業協同組合が盆過ぎから約１か月間、彦根梨の販売を市場で開催され、連日梨を求めて多くの人々が来場されました。また、特に今期は地場産シャインマスカットの試験的な販売をされました。果実の販売期間中、市場の関連店舗事業者の一部が来客者対象に梨販売場所の付近で物品の販売を行いました。

- 5 資産勘定で次の設備更新等を行いました。

設備面では、新たな収入確保を図る観点から２階の旧青果事務所を賃貸できるように空調設備の更新をしました。空調設備更新後すぐさまホームページへの借受人募集や不動産業者への営業活動を行いました。

- 6 資本金の額の減少につきましては、去る令和７年１１月１０日に開催の臨時株主総会におきまして全株主の承認決議を得て令和８年１月１５日から効力が発生いたしました。

た。今回の資本金の額の減少は、資本金の額4億円を1億円にするものですが、当社の財産が減資を行う前後で全く変わらず、1株当たりの純資産額も変わらない無償減資を行うことによって、当社を中小企業化することにより税制制度の優遇措置を受けることによって会社の財務改善に繋げることができます。

(参考)

- ・払戻を行わない無償減資を行うことにより発行済株式総数の変更を行わず、減少する資本金をその他資本剰余金に振替いたします。

- ・今回の無償減資は、純資産の部における勘定科目の振替処理であり、純資産の変動および財産・業績への影響はありません。

以上が、第38期の事業報告となります。

当社といたしましては、空き店舗や空き事務所の解消を進め財源確保を図りながら施設・設備の老朽化に対して適切な修繕を行い、今後とも当市場が市民生活を支え続ける持続可能な市場として維持していけるよう事業展開をまいりますので、株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

決 算 報 告 書

第 3 8 期

自 令 和 7 年 4 月 1 日

至 令 和 8 年 3 月 3 1 日

彦根総合地方卸売市場株式会社

滋賀県彦根市安食中町327

貸 借 対 照 表

(単位：円)

彦根総合地方卸売市場株式会社

令和 8年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 55,127,848 】	【流 動 負 債】	【 14,215,921 】
現 金	11,926	未 払 金	2,397,966
預 金	52,150,789	前 受 金	143,000
未 収 入 金	2,946,684	預 り 金	138,823
貯 蔵 品	18,449	未 払 法 人 税 等	503,900
【固 定 資 産】	【 419,194,263 】	預 り 保 証 金	11,032,232
(有 形 固 定 資 産)	(417,919,311)	【固 定 負 債】	【 3,692,000 】
建 物	31,632,135	長 期 借 入 金	3,692,000
建 物 付 属 設 備	20,411,883	負 債 の 部 計	17,907,921
構 築 物	490,851	純 資 産 の 部	
車 両 運 搬 具	1	【株 主 資 本】	【 456,414,190 】
工 具 器 具 備 品	1,166,017	[資 本 金]	[100,000,000]
土 地	364,054,249	[資 本 剰 余 金]	[300,000,000]
一 括 償 却 資 産	164,175	(その他資本剰余金)	(300,000,000)
(無 形 固 定 資 産)	(224,952)	その他資本剰余金	300,000,000
電 話 加 入 権	224,952	[利 益 剰 余 金]	[56,414,190]
(投 資 そ の 他 の 資 産)	(1,050,000)	(その他利益剰余金)	(56,414,190)
出 資 金	1,050,000	繰 越 利 益 剰 余 金	56,414,190
		(うち当期純利益)	(6,758,660)
		純 資 産 の 部 計	456,414,190
資 産 の 部 計	474,322,111	負 債 ・ 純 資 産 の 部 計	474,322,111

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 令和 7年 4月 1日

彦根総合地方卸売市場株式会社

至 令和 8年 3月31日

科 目	金 額	
【売 上 高】		
賃 貸 料 収 入	35,036,478	
土地賃貸料収入	6,944,000	41,980,478
売 上 総 利 益		41,980,478
【販売費及び一般管理費】		42,070,926
営 業 利 益		△90,448
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	96,197	
雑 収 入	216,394	312,591
【営 業 外 費 用】		
支 払 利 息	54,463	54,463
経 常 利 益		167,680
【特 別 利 益】		
補 助 金 収 入	9,359,881	9,359,881
【特 別 損 失】		
固定資産除却損	1	1
税引前当期純利益		9,527,560
法 人 税 等		2,768,900
当 期 純 利 益		6,758,660

株主資本等変動計算書

彦根総合地方卸売市場株式会社

自 令和 7年 4月 1日 至 令和 8年 3月31日

(単位：円)

株主資本		
資本金		
当期首残高		400,000,000
当期変動額	資本金から剰余金への振替	<u>△300,000,000</u>
当期末残高		<u>100,000,000</u>
資本剰余金		
その他資本剰余金		
当期変動額	資本金から剰余金への振替	<u>300,000,000</u>
当期末残高		<u>300,000,000</u>
資本剰余金合計		
当期変動額合計		<u>300,000,000</u>
当期末残高		<u>300,000,000</u>
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高		49,655,530
当期変動額	当期純利益	<u>6,758,660</u>
当期末残高		<u>56,414,190</u>
その他利益剰余金合計		
当期首残高		49,655,530
当期変動額合計		<u>6,758,660</u>
当期末残高		<u>56,414,190</u>
利益剰余金合計		
当期首残高		49,655,530
当期変動額合計		<u>6,758,660</u>
当期末残高		<u>56,414,190</u>
株主資本合計		
当期首残高		449,655,530
当期変動額合計		<u>6,758,660</u>
当期末残高		<u>456,414,190</u>
純資産合計		
当期首残高		449,655,530
当期変動額合計		<u>6,758,660</u>
当期末残高		<u>456,414,190</u>

個 別 注 記 表

自 令和 7年 4月 1日

彦根総合地方卸売市場株式会社

至 令和 8年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……………建物・建物附属設備・構築物は、旧定率法または定額法

上記以外は定率法

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理……………税込方式で計上

2. 貸借対照表に関する注記

無償減資に関する事項

資本金 4 億円を 3 億円減少して 1 億円とした。

減少した 3 億円は、その他資本剰余金に振替えた。

その効力発生日は、令和 8 年 1 月 1 5 日。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式

普通株式（発行済株式）

前期末株式数（発行済普通株式）8,000 株

当期増加株式数（発行済普通株式）

当期減少株式数（発行済普通株式）

当期末株式数（発行済普通株式）8,000 株

4. 1 株当たり情報に関する注記

1 株当たりの純資産額 57,051 円 77 銭

1 株当たりの当期純利益金額 844 円 83 銭